

ネット上の知り合いと会うことの危険性

春といえば、進学・卒業の季節です。学年が変わったり、小学校から中学校に進学したりと、大きな変化のある時期です。毎年この時期になると、ネット上で「3月で中学を卒業する」「4月から高校生になる」という投稿が増えます。

ネット上で学校や学年、年齢などの個人情報を知られた場合、危険な目にあう可能性が高くなってしまふことをあなたは知っていますか？ 今から、どんな危険がひそんでいるか事例を見てみましょう。

ネット(SNS)上で知り合った人と会った際に・・・

I 子さんは、日々楽しくSNSを利用していました。4月から進級することが楽しみな I 子さんは、「もう中2かぁ」などとつぶやいたり、友達と遊んだ時の写真をSNS上にアップしたりしていました。すると、同級生だという見知らぬ男の子からメッセージが届きました。

相手が同級生だということで、軽い気持ちでメッセージのやりとりをするようになった I 子さん。やりとりをしていくうちに、だんだん相手の事を好きになっていきました。

数日後、相手から「次の日曜に会おう」というメッセージが届き、I 子さんはすぐに「いいよ！」と返信し実際に会いに行くことになりました。

約束の当日。I 子さんが待ち合わせ場所に行ってみると、明らかに成人を迎えた男性しか見当たりません。その時、相手がSNS上で言っていた「同い年」というのは嘘で、だまされていた事に気付くのです。



上記事例では会いに行きそのまま帰ったため、「だまされた」というトラブルだけでした。

もし、「一度なら会ってもいいかな」と思った I 子さんが相手と会ってしまっていたら・・・

「学校は〇〇中?」「いつもどこで遊ぶの?」など色々な質問をされ、恐くて素直に答えてしまうかもしれません。そうすると、「まだ部活中かな?」「君のお家、見つけたよ。」というようなメッセージが毎日届くようになり、ネットストーカー被害や現実世界でのストーカー被害にあっているかもしれません。

「少し車で行きたいところがある」と無理やり車に乗せられ、誘拐されていたかもしれません。

ネット上で見知らぬ人と知り合う機会はたくさんあります。最近では、SNSだけではなくオンラインゲーム上での友達がいるという人も増えてきています。この記事を見て、「自分は大丈夫」「そんな簡単に会いに行くわけない」と思うかもしれませんが、実際にネットがきっかけとなりトラブルにあう人は年々増えています。自分の身を守るため、ネット上では簡単に嘘がつけるということを意識し、ネット上で知り合った人には絶対に会いに行かないようにしましょう。